

3-11

QOLの向上

園芸療法を活用した生活の向上に向けて

園芸療法

生活の向上

社会福祉法人櫻灯会 特別養護老人ホーム日の出紫苑

サービス部 金子 恵理子

サービス部 細金 睦美

東京都西多摩郡日の出町大久野 231-1

TEL : 042-597-1941

E-mail : hinodeshien@outoukai.or.jp

FAX : 042-597-1949

URL: <http://www.outoukai.or.jp>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

平成8年4月に特別養護老人ホーム日の出紫苑開設。居宅介護支援事業の他来年4月にはグループホームの開設を予定している。『人と社会に心安まる灯をともし』ことを使命としてご利用者に満足いただける質の良いサービスに努めております。

<取り組んだ課題>

QOLの向上

外出機会の少ない利用者に季節感を味わっていただく
生活の質の向上を図る（生活のメリハリ）
作業を通して達成感・満足感・気分転換をはかる
将来への関心を引き起こす（いつ発芽する？いつ開花する？次のシーズンに何を植える？）
作業を通じての記憶の掘り起こし
作業共有、社会性の維持

<具体的な取り組み>

問題解決のための取り組みの具体的な内容

- 毎週水曜日、外部よりセラピストを招いて園芸療法として2回、施設スタッフのみで運営するクラブとして2回実施している。
- 状況にあわせたグループの組み合わせと席順の工夫
- 植物の選択
- 絵を見せたり、食べ方を説明してイメージを作る
- 植物の観察・収穫・試食会を実施
- 利用者主体で作業を進める(介助は最小限に)
- 四季折々の作業を通して季節感をあじわったり、次の作業を予測していただく
- 評価対象利用者に対して個別評価を行っている

<活動の成果と評価>

<利用者さんの変化>

- 園芸が生活に定着してきている
- 利用者から期待の声がかかる
- 去年の作業や前回の作業を記憶している
- 作業が身についている
- 昔の経験が復活している⇒作業の定着
- 季節を感じている
- 作業の共有による社会性の確立
(実際の行動につながる会話ができる)

<今後の課題>

- 参加利用者の拡大
- スタッフの確保
- ボランティアの導入
- 個別評価対象者を増やす